

共感力
挑戦力
やりぬく力



平井小だより

令和5年1月27日
第14号
文責 吉永鈴子

応援ありがとうございます！

1月21日(土)晴天の下、持久走大会を実施しました。保護者の皆様、地域の皆様のご声援のおかげで、どの子どもも自己最高記録を更新することができたようです。あらためて、「応援」の大切さ、力の大きさを実感しました。心より感謝申し上げます。

行事等の様子は、本校ホームページでご確認ください！



祝！新記録！

5年生の庄山瑠那さんが7分9秒でゴールし、歴代記録を更新しました。これは、6年生女子の歴代記録を上回るものです。歴代記録には、平成22年から破られていないものもあります。今から次の大会が楽しみです！

プロの技に感激～アウトリーチ音楽鑑賞会！～

県立劇場や荒尾市文化センターにご協力いただき、1月18日(水)に、「アウトリーチ音楽鑑賞会」を実施しました。対象は、3年生と4年生の子供たちです。海外でも活躍されているオーボエ奏者の若木麻有さんとピアノ伴奏者の藤本史子さんによるミニコンサートです。プロの演奏を、手が届きそうな距離で、小学校の音楽室で鑑賞ができるという素晴らしい機会でした。子供たちの感想から、感動が伝わってきました。これを機に、子供たちが音楽をもっと好きになってほしいと願います。

ぼくが心に残ったことは、音楽が楽しくなったことです。前までは、あまり音楽が好きじゃなかったけど、今日、オーボエを聞いて、好きになりました。

知っている曲と知らない曲がありました。でも、知らなくても、聞いたことがあるように聞こえました。コンサート会場にいるようでした。やさしいところもあって、迫力もあって、音を細かくできるのがすごいと思いました。

ぼくは、「千の風になって」を聞いて、一瞬泣きそうになりました。また平井小に来てください。

はじめてオーボエの生の音を聞いて、風に吹かれて音楽が聞こえるように感じました。私は、これからオーボエの魅力をもっと知りたいです。

ぼくが心に残ったことは、オーボエは音楽に大事な楽器だということです。ピアノは、音楽に合わせて弾くと、とても音色がきれいに聞こえるから、大事だと思います。これからは、オーボエとピアノのことを、もっと勉強したいです。

誰一人取り残さない「笑顔まんかい」を目指して！

「いじめ防止対策推進法」では、いじめを「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義しています。

本校では、12月に「心のアンケートを実施し」児童全員の教育相談を行いました。その結果を「いじめ・不登校対策委員会」において上記の「いじめの定義」をふまえて協議し、4件の行為をいじめであると再確認しました。これまで、何かあるごとに、子供たちはもちろん、関係の保護者の皆様とも話し合ってきました。子供たちも素直に反省してくれ、保護者間でも謝罪や再発防止の取組を行っていただき、その誠実な姿勢に、いつも学ばせていただいているところです。

今回のアンケートでは、子供たちの「相談力」の向上も確認することができました。子供たちは、一人で抱え込まず、担任やご家族に相談してくれています。これからも、子供たちが安心して生活できる学校づくりに取り組んでいきます。また、悩みを相談してもらえ「信頼できる大人」と子供たちに認めてもらえるよう、全職員で努力を続けます。子供たちは、発展途上です。失敗を繰り返しながら成長していきます。大切なことは、失敗したときに、大人が正しく関わることだと考えています。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。